

シリアル、パラレル双方向変換ユニット

KS-SPS

RS-232Cインターフェース仕様の信号とセントロニクス仕様の信号を双方向に変換

KS-SPS

シリアル、パラレル変換ユニット(ACアダプタ付属)
 価格: 41,800円(税込)(本体価格: 38,000円+)



オプションケーブル

	価格
CBL21(PC-9801接続用RS-232Cケーブル、1m).....	9,955 円
CBL22(IBM9ピン接続用RS-232Cケーブル、1m).....	9,955 円
CBL23(IBM25ピン接続用RS-232Cケーブル、1m).....	9,955 円
CBL51(パラレル機器接続用プリンタケーブル、1m).....	9,955 円

【KS-SPSの特長】

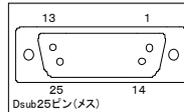
「シリアルパラレル変換ユニット」はRS-232C規格のシリアルポートとセントロニクス規格のパラレルポートを持っています。ディップスイッチを切り替えることにより、1台でシリアル⇒パラレル変換、パラレル⇒シリアル変換の通信を行うことができます。

【仕様】

型名	KS-SPS		
シリアルポート	仕様	RS-232C準拠(Hiレベル約+10V、Lowレベル約-10V)	
	通信方式	調歩同期式	
	通信手順	無手順	
	制御方式	RTS、CTS制御/XONXOFF制御	切替
	伝送速度	300/600/1200/2400/4800/9600/19200/38400 BPS	切替
	パリティ	奇数パリティ/偶数パリティ/なし	切替
	ビット長	8ビット/7ビット	切替
パラレルポート	スタートビット	1ビット固定	
	ストップビット	1ビット以上	
	仕様	セントロニクス準拠	
ソフトウェア条件	入出力レベル	TTLレベル	
	ビット数	8ビット	
	タイミング	BUSY/ACKタイミング	切替
環境	ソフトウェア	FIFOリングバッファ(容量:28Kバイト)	
	動作方式	ポーリング	
	動作温度・湿度	5~35℃、30~80%(結露しないこと)	
	保存温度・湿度	-20~50℃、5~85%(結露しないこと)	
	電源電圧	DC9V	
	消費電力	300mA(DC9V)	
外形寸法	100(W)×108(D)×30(H)mm(突起部含まず)		
重量	約380g		

■ ピンアサイン

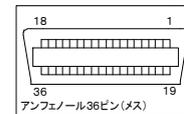
● シリアル側



ピンNo.	名称	信号の方向	信号の役割および処理
1	FG フレームグラウンド		フレームグラウンドに接続
2	SD 送信データ	出力	データをDTEのRx Dへ送信
3	RD 受信データ	入力	DTEのTx Dからデータを受信
4	RS 送信要求	出力	制御信号をDTEのCTSへ送信
5	CS 送信可	入力	DTEのRTSから制御信号を受信
6	DR データセットレディ	入力	ER(20番ピン)に内部で接続
7	SG シグナルグラウンド		GNDに接続
20	ER データ端末レディ	出力	DR(6番ピン)に内部で接続

※コネクタはD sub 25ピン(メス)になります。クロスケーブルでRS-232Cポートと接続します。

● パラレル側



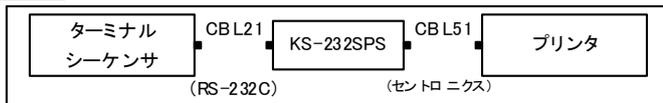
ピンNo.	名称	信号の方向	信号の役割および処理
1	STB ストロープ	出力	データを送信するための同期信号
2	DATA1 データ①	出力	データビット0(8ビット)/データビット0(7ビット)を送信
3	DATA2 データ②	出力	データビット1(8ビット)/データビット1(7ビット)を送信
4	DATA3 データ③	出力	データビット2(8ビット)/データビット2(7ビット)を送信
5	DATA4 データ④	出力	データビット3(8ビット)/データビット3(7ビット)を送信
6	DATA5 データ⑤	出力	データビット4(8ビット)/データビット4(7ビット)を送信
7	DATA6 データ⑥	出力	データビット5(8ビット)/データビット5(7ビット)を送信
8	DATA7 データ⑦	出力	データビット6(8ビット)/データビット6(7ビット)を送信
9	DATA8 データ⑧	出力	データビット7(8ビット)を送信
10	ACK アクノリッジ	入力	データの取り込みを完了したことを示す信号
11	BUSY ビジー	入力	データ受信不可能な状態であることを示す信号
15-34 35-36	PTE パリティエラー	入力	データを送信している間のパリティチェックを行う
16-17 19-30	GND グラウンド		シリアル側のGNDと結合
31	INP.PRIME インプットプライム	出力	初期化するための信号(常にHiレベル)

※パラレルポート側はAnfenneer 36ピン(メス)になります。通常は両端が36ピンのパラレルケーブルを使用してプリンタボードと接続します。

※データ入力はTTLレベル正論理です。

■ 応用例

1 パソコンのシリアルデータをパラレルデータに変換して、プリンタに印字する場合の接続。



2 パソコンのパラレルデータをシリアルデータに変換して、別のパソコンへ送信。

